

## (5) 伊予ブロック (伊予市、松前町、砥部町)

### ～産地づくり～

県都松山市に隣接し、市場だけでなく産直市や、観光農業、通信販売等、多様な販売チャネルの活用が見込めるため、消費者ニーズを捉えた多様な野菜・花き類や地域ブランド製品の生産振興による産地づくりを目指します。水田農業では、新品種の導入や品質向上を図る一方で、コスト削減や省力化に努め、集落ぐるみで産地育成を推進します。また、果樹では、環境に配慮した栽培管理や鳥獣被害防止にも取り組みながら、地域経済を支える基幹産業として足腰の強い競争力のある産地の確立を目指します。

### ～推進品目や産地づくりの方向～

#### ○収益性の高い水田経営の推進

##### 1 水稲・はだか麦の優良種子の安定生産

###### 【取組】

- ・無病で発芽率のよい種子を生産するため、伊予地区種子生産協議会において、技術講習会や現地指導、採種ほ場の審査を実施

###### 【成果】

- ・令和5年度の県内種子を確保
  - 〔水稲：6品種(5品種) 161.6t (前年比100.2%)
  - はだか麦：1品種(1品種) 65.3t (前年比 91.6%)

##### 2 水稲新品種「ひめの凜」の普及拡大

###### 【取組】

- ①産地化に向け、現地実証や栽培講習会を開催
- ②認定栽培者制度により、食味向上の取組を徹底

###### 【成果】

- ①ひめの凜栽培の面積：51ha (前年 34ha)
  - ②プレミアムクオリティ：36t (前年 72t)
- ※夏場の高温等により粒張不足と白未熟粒の発生により減収

##### 3 はだか麦「ハルヒメボシ」の高品質安定生産

###### 【取組】

- ①需給バランスを改善するため、小麦への作付け転換を推進
- ②品種特性に対応した栽培技術の普及や後期重点施肥技術の導入

###### 【成果】

- ①栽培面積：341ha (前年比-20ha)
- ②平均収量：324kg/10a (目標360 kg/10a)

##### 4 小麦「シロガネコムギ」の導入

###### 【取組】

- ・栽培講習会や実証ほを設置し、小麦栽培の導入を推進

###### 【成果】

- ①栽培面積：36ha (前年 38ha)
- ②平均収量：418kg/10a(目標：480kg/10a)



種子栽培研修会



ひめの凜現地講習



小麦の収穫



甘平のかん水管理園



紅プリンセスの生育状況

#### ○果樹の高品質安定生産によるブランド力の向上

##### 1 「甘平」の裂果軽減による安定生産の確保

###### 【取組】

- ①裂果軽減対策の検証
- ②生育状況に合わせた水管理の実証及び指導

###### 【成果】

- ①深層部根量の多少が裂果に影響していることを確認、断根等の管理の必要性を確認
- ②土壌改良機器による土づくりや土質、乾湿に対応した水分管理の必要性の理解が広まった。

##### 2 かんぎつ新品種 愛媛果試第48号「紅プリンセス」の導入

###### 【取組】

- ①早期成園化に向けた整枝管理の徹底
- ②早期結実を目指した樹体管理

###### 【成果】

- ①優良園地では、樹容積の拡大が図られ結実が可能
- ②樹容積の拡大が順調な園地では、施設を設置

## ○地域特産野菜・花き振興による農家所得の安定

### 1 環境にやさしい施設野菜の推進

#### 【取組】

- ①土着天敵(タバコカスミカメ)の導入
- ②土着天敵定着のための温存植物の導入促進

#### 【成果】

- ・天敵導入農家数  
きゅうり：2戸40a(前年：2戸、40a)  
なす：4戸40a(前年：3戸、35a)

### 2 地域特産野菜の振興

#### 【取組】

- ①高収益水田野菜として、さといもの普及拡大を図るため、講習会(3回)や病害虫防除指導を実施
- ②夏秋トマトの生育状況に対応した栽培管理の徹底
- ③天敵導入による自然畧栽培の省力化

#### 【成果】

- ①・栽培面積：5ha(集落営農法人や大規模生産農家が中心)  
・優良種苗増殖のためのセル育苗を導入  
・「媛かぐや」の新規導入
- ②夏秋トマト生産量：153t(前年188t) ※記録的な高温乾燥
- ③防除回数が削減(4回→2回)

### 3 鉢物生産技術の向上

#### 【取組】

- ①さくらひめ鉢物栽培技術の向上を図るため、個別巡回指導や現地実証、研修会を実施
- ②伊予花き研究定例会(10回)で情報交換や販売促進を検討

#### 【成果】

- ①生産量：10,400鉢(前年比105%)、生産者数：6戸
- ②資材高騰対策に係る補助事業等、適切な情報共有による対応



媛かぐやセル育苗



さといもの生育調査



さくらひめの鉢物



栗低樹高講習会



母樹園の設置



集落の見回り点検活動

## ○地域を代表するブランド製品の産地維持・振興

### 1 「中山栗」の産地力向上

#### 【取組】

- ①生産力強化を図るため、せんだい講習会やモデル園の設置、せんだい班活動による低樹高化を推進
- ②ブランド力を強化するための加工品開発を支援

#### 【成果】

- ①・新規低樹高剪定実施ほ場面積：352a  
・せんだい請負面積：40ha(前年44ha)
- ②レトルト加工品の開発及び販売(1品)

### 2 「七折小梅」の安定生産

#### 【取組】

- ①優良系統樹の選抜と改植を推進
- ②栽培者の高齢化に対応した省力化樹形の普及

#### 【成果】

- ①優良系統樹5樹を選抜、母樹園の設置、優良系統の苗木(800本)を改植、更新
- ②母樹園を利用して苗木からの省力化樹形モデル園を設置

### 3 鳥獣被害防止対策の実践

#### 【取組】

- ①被害の多い地区の獣道や箱罾の設置状況等について猟友会員と青年農業者が点検を実施(1回)、箱罾の修理、環境点検を支援
- ②農地の掘りしや作物被害の大きい場所に暗視カメラを設置
- ③中山地区で、研修会等を通じて集落ぐるみの対策を支援
- ④青年農業者に、講習会等を通じて鳥獣害対策技術及び狩猟免許の取得を推進

#### 【成果】

- ①定期的な見回りが定着
- ②・獣類の特定と出没を確認  
・設置場所の変更等により捕獲率が向上(前年比37%増)
- ③集落における対策について理解度向上
- ④狩猟免許取得の重要性を認知



## ～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携・協力し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や参入企業の掘り起こしと定着支援に取り組みます。また、集落営農組織の育成や法人化を進め、優良農地など地域農業基盤の維持・管理と地域コミュニティの活性化を図ります。

活力と愛顔あふれる農村社会を実現するため、女性の感性や能力を活かした起業活動や農業経営への参画を推進し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。

## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○次代を担う新規就農者の確保・育成と多様な人材の参画支援

#### 1 新規就農者の確保

##### 【取組】

- ① サラリーマン等を対象とした休日就農相談会(2回、10人参加)や個別の就農相談等を通じて、新規就農者を確保

##### 【成果】

- ① 新規就農者：7人(前年:6人)
- ① 新規就農者のうち認定新規就農者:4人(前年:4人)

#### 2 新規就農者の定着率向上

##### 【取組】

- ① 新規就農者育成総合対策等受給者に対する支援(現地確認、就農状況確認及び経営相談:27人)
- ② 新規就農者勉強会の開催(1回、10人参加)
- ③ 補助事業及び資金借入による早期経営安定支援(6人)
- ④ 青年農業者組織活動支援(研修会等4回開催[農業機械講習、農業簿記・経営分析研修、視察研修]、プロジェクト課題の設定:4)

##### 【成果】

- ①～④ 就農3年目の定着率:100%(前年対比149%)

#### 3 多様な人材の参画支援

##### 【取組】

- ・ 農福連携の取組を啓発するとともにマッチングを支援

##### 【成果】

- ・ 農作業受託件数:4件(品目:さといも、オクラ、キウイフルーツ他)



サラリーマン等就農相談会



青年組織視察研修



キウイフルーツ収穫作業受委託



集落営農組織の研修会



ハイクリ農機による土入れ

### ○優良農地を保全する集落営農組織・農業生産法人の育成

#### 1 集落営農組織や農業生産法人の育成

##### 【取組】

- ① 中小企業診断士等による経営相談を開催
- ② 高収益化に向けて、新たな品目の導入を提案

##### 【成果】

- ① 経営の安定化
- ② 高収益作物さといもの導入・普及 面積:2.3ha(前年対比115%)

#### 2 集落営農の組織間連携による優良農地の保全

##### 【取組】

- ① さといもの増収を目指し、実証圃を活用した基本技術の徹底指導および生育・収量調査の実施
- ② 肥料高騰対策や化学合成緩効性肥料(マイクロプラスチック対策)の研修会を開催(50人参加)

##### 【成果】

- ① 調査区で目標収量3t/10aを達成
- ② 肥料高騰対策や化学合成緩効性肥料について最新の知見を習得

#### 3 高収益作物の導入による経営安定

##### 【取組】

- ① 県育成品種さといも「愛媛農試V2号」の導入を推進
- ② 省力・効率化のための機械化を推進

##### 【成果】

- ① 集落営農組織の栽培面積:2.3ha(前年対比115%)
- ① ②5月中旬定植でも目標収量の7割を確保でき作期分散が可能
- ② 乗用土入れ機及び生分解性マルチにより、作業時間が、従来の3分の1程度に短縮

## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○女性農業者の仲間づくりと女性が輝く社会の実現

#### 1 地域に根差した食文化の保存・伝承

##### 【取組】

- ①生活研究協議会による地域の食文化伝承活動を支援（2地区）
- ②地域の加工品や伝統食・保存食の紹介および継承活動を実施し、インターネットを利用した情報発信手法を支援

##### 【成果】

- ①学童及び保護者への地元産物の魅力や郷土料理の知見が深化、食文化への関心を向上
- ②伊予地区に伝わる伝統的な食文化や調理方法などをYouTubeにて配信（動画の累計再生回数：延べ63,969回）

#### 2 女性認定農業者組織「あいネットワーク」の活動支援

##### 【取組】

- ①経営改善や地域活動に関する視察研修を実施（西予市:リコピズ）
- ②会員の経営参画を支援するため、簿記帳簿や経営分析の手法について研修会を開催（1回）

##### 【成果】

- ①農業経営参画へのモチベーションが向上
- ①一部会員(5人)が農業経営者連合協議会と連携
- ②個々の経営管理能力が向上

#### 3 伊予地区一次産業女子グループ「葉(は)れるや」の活動支援

##### 【取組】

- ①一次産業女子のネットワーク組織として規約を整備
- ②媛かぐやの栽培研修、共同作業を開催（計5回）
- ③SNS研修および他県の優良事例視察研修の企画・開催を支援
- ④グループのロゴ入りのぼりの作成を支援

##### 【成果】

- ①組織活動の活性化 活動回数：8回/年←6回/年(前年対比)
- ②媛かぐやの共同栽培を開始
- ②組織団結力の向上、マスコミ等を活用した活動PRを展開
- ③情報発信力の向上、生産物の販売力強化
- ④地域イベント（2回）への積極的な参加、活動PRに利活用



小学生に鯛のさばき方を実演



視察研修(あいネットワーク)



媛かぐやの共同栽培について  
TVで紹介(「葉れるや」)

### ○地域資源を活用した消費者との交流活動の推進

#### 1 グリーン・ツーリズムの推進

##### 【取組】

- ①えひめグリーン・ツーリズムプロモーション事業を活用した誘客促進支援
- ②各地区間のGT活動の情報収集と会員の交流支援、促進
- ③伊予市グリーン・ツーリズム新規誘客促進事業の推進、支援

##### 【成果】

- ①県のパンフレットに4軒の体験施設が掲載、集客力向上に貢献
- ②活動実践者間の情報収集、連携・交流が促進
- ③事業を導入したGT施設全体の利用者数1,604人（前年比137.4%）のうち、事業（クーポン）利用者数625人

#### 2 女性起業家育成と消費者交流の推進

##### 【取組】

- ①女性起業家の活動支援（新商品開発、コロナ下における販路確保）
- ②女性起業家の消費者交流イベントへの参加促進：計3回  
（松前町たわわ祭、とべ楽市）

##### 【成果】

- ①企業との連携による商品開発（ひな豆風ポン菓子：1件）
- ①大手百貨店での販売を視野に企業と連携した高級志向コラボ商品の開発・販路の交渉を継続
- ②消費者との交流による女性起業家の認知度向上



米粉ピザ体験活動



企業と連携・開発中の裸麦  
を使ったコラボ商品



～農業用水の安定供給と樹園地再編による優良品種産地拡大～

○水田地帯の農業用水の安定確保

【取組】

- ①基幹的水利施設の計画的な更新
- ②老朽化した農業用ため池の改修や農業用ため池の地震対策を実施

【成果】

- ①基幹水利施設の更新地区数：1地区（砥部町 砥部地区）
- ②農業用ため池の改修、地震対策実施地区数：3地区  
（伊予市 吾川地区、土段地区、宮下新池地区）

○樹園地の再編整備

【取組】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した樹園地の再編整備

【成果】

- ・再編実施地区数：1地区（砥部町 砥部地区）



改修工事が完了した初ヶ谷池  
（吾川地区）



樹園地再編整備の現地調査状況  
（砥部地区）

～安全・安心な畜産物生産体制の強化に向けて～

1 高病原性鳥インフルエンザなど家畜伝染病の農場への侵入防止

【取組】

- ①飼養衛生管理基準の遵守徹底を継続指導
- ②農場HACCP認証維持のため、HACCPチーム員として指導助言を実施

【成果】

- ①家畜の飼養者について、埋却地等立入調査を実施するなど、飼養衛生管理基準遵守の実効性を確保
- ②HACCP認証の維持（2農場）

2 地域環境に配慮した経営体の育成

【取組】

- ・堆肥の利用状況等に関する聞き取り調査を行い、必要に応じて衛生対策や環境面に対する指導や支援を実施

【成果】

- ・環境・衛生の生産者意識の向上  
調査指導：6戸10農場



HACCP検討会議



堆肥利用調査